

## 日本リウマチ看護学会 投稿規定

### 1. 投稿者の資格

投稿の筆頭者は本学会員とする。但し、編集委員会から依頼された原稿についてはこの限りではない。

### 2. 原稿の種類

1) 原稿の種類は、原著論文、研究報告、実践報告、資料、総説、その他であり、それぞれの内容は下記のとおりである。

【原著論文】研究論文のうち、研究そのものが独創的で、新しい知見や理解が論理的に示されており、リウマチ看護および看護学の知識として意義が明らかであるもの。

【研究報告】内容的に原著論文には及ばないが、結果の意義が大きく、リウマチ看護および看護学の発展に寄与すると認められるもの。

【実践報告】リウマチ看護および看護学の発展に寄与すると考えられる実践の内容を広く公開し、共有することの意義が明確に述べられているもの。

【資料】リウマチ看護実践および看護学の発展に寄与すると考えられる資料的価値があるもの。

【総説】リウマチ看護および看護学に関わる特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。

【その他】リウマチ看護あるいは看護学の研究に関する見解等で、編集委員会が適当と認めたもの。

2) 投稿論文の内容は、他の出版物（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る、重複投稿は禁止する。

### 3. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、投稿者所属の施設の倫理委員会の承認を得ていることを承認番号とともに本文中に明記する。

### 4. 謝辞（あるいは助成等）

当該研究の遂行に関して受けた研究助成がある場合には、論文の末尾（文献の前）に「謝辞」の欄を設け、助成機関名とその旨を記載する。また、委員会活動の成果である場合はその旨を記載する。著者以外で当該研究の遂行や論文作成に貢献した者がいる場合は、「謝辞」の欄に貢献内容を記して謝意を述べる。資金の獲得、データ収集、または研究グループへの部分的な助言のみを行った者などは著者にはあたらず貢献した者に該当する。

### 5. 利益相反

当該研究の遂行や論文作成において、利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を「謝辞」の欄の次に「利益相反」の欄を設けて記載する。また、利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

## 6. 投稿手続

- 1) 所定のフォーマットを学会ホームページからダウンロードし、フォーマットに従って原稿を作成する。
- 2) 提出時には、ファイル（word97-2003 年用）で保存しメール送信する。送信時には必ずパスワード設定し、投稿原稿と別メールで事務局に送信する。  
また本学会所定の「エントリーシート」「著者同意書」に必要事項を記載し、メール送信する。
- 3) 原稿は、下記に mail 送信する。

日本リウマチ看護学会事務局 編集委員会

E-mail: jsrn@huhs.ac.jp

## 7. 原稿の受付および採否

- 1) 上記 6. の手続を経た原稿の到着日を受付日とする。  
(受付日と到着順に付す受付番号とを投稿者に通知する)
- 2) 原稿の採否は査読を経て編集委員会が決定する。
- 3) 編集委員会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。
- 4) 投稿された論文は理由の如何を問わず返却しない。
- 5) 著者校正

査読を経て、編集委員会に受理された投稿原稿については、著者校正は 1 回のみとする。但し、校正の際の加筆は原則として認めない。

### 6) 原稿執筆の要領

原稿は原則として、word93-2003 年用で作成する。原稿は投稿フォーマットに沿って作成し、偶数ページとなるようにして投稿者自身でレイアウトする。

投稿原稿は本文、文献、図表を含めて下記の枚数以内とする。図、表および写真は、図 1、表 1、写真 1 等の通し番号と表題をつける。

図・表・写真はフォーマットの中に挿入してもよいし、最後に図表だけをまとめて記載してもよい。図・表・写真は、それぞれ 1 点を 400 文字に換算し、原則として以下の規定の字数に収める。

原著論文 16,000 字以内

研究報告 16,000 字以内

実践報告	12,000 字以内
総説	12,000 字以内
資料	12,000 字以内
その他	12,000 字以内

外国語はカタカナで、外国人、日本語訳が定着していない学術用語などは原則として活字体の原綴で書く。

7) 引用文献リストは、筆頭著者の姓とイニシャルによってアルファベット順に列記する。

<例>

Evans, A. D., & Tevlin, F. D. (2010) : The emerging study of midlife: Psychological and social development in middle age, *Journal of Nursing Society*, 6(3), 21-28.

兵庫太郎, 神戸吾郎, 大阪梅子, 他 (2007) : リウマチ看護の現状, *日本リウマチ看護学会*, 1(3), 1-10.

Saywitz, A., Cohen, B., Kandel, C., et al. (2002) : Stress and Nursing, *Journal of Japanese Society for Chronic Illness and Conditions Nursing*, 1 (3), 1-15.

8) 著者名は筆頭著者名以下3名までを記載し、4名以上の場合は「他」ないし「et al.」とする。

9) 英語文献の場合は、書名、論文名については最初の語、コロンやダッシュの直後の語、および固有名詞のみ語頭の文字を大文字で表す（それ以外の文字は小文字を使用）。

10) 文章中の引用著者の記載は、(1)～(8)のように示す。

(1) 単独の著者の場合：著者の姓と発行年を括弧表示する。

<例>

・田中 (2006) の報告では、…。

…が認められた (兵庫, 1996) .

(2) 複数の著者：筆頭著者の姓に続けて「～ら」とし、欧文では「et al.」を記す。

<例>

・田中ら (2006) は、…。

Kats et al. (2000) のマネジメントでは、…。

…を占めた (佐藤ら, 2003) .

・・・が認められた (Kats et al., 1998)。

(3) 翻訳書

原著者の姓と発行年／訳者の姓と翻訳書の発行年を表示する。

<例>

…が認められる (Larson, 1996／静岡, 2010) 。

Kats (1996/静岡, 2010) によると、…。

(4) 複数文献の引用

複数の文献を引用した場合には、筆頭著者のアルファベット順に表示する。

<例>

…が示されている(福岡, 2012; 東京, 2009)。

(5) 同一著者による、同じ年に発行された異なる文献

発行年にアルファベットを付して、文献を区別する。

<例>

岡山 (2010a) によると、…。また、…であることが明らかにされている (岡山, 2010b) 。

(6) 雑誌掲載論文：

著者名 (発行年)3 名まで：論文の表題, 掲載雑誌名, 巻 (号), 最初のページー最終のページ。

<例>

・兵庫太郎, 神戸吾郎, 大阪梅子, 他 (2007) : リウマチ看護の現状, 日本リウマチ看護学会, 1(3), 1-10.

・Saywitz, A., Cohen, B., Kandel, C., et al. (2002) : Stress and Nursing, Journal of Japanese Society for Chronic Illness and Conditions Nursing, 1 (3), 1-15.

・Evans, A. D., & Tevlin, F. D. (2010) : The emerging study of midlife: Psychological and social development in middle age, Journal of Nursing Society, 6(3), 21-28.

(7) 単行本：

著者名 (発行年)：書名 (版数), 引用箇所最初のページー最終のページ, 出版社名, 出版地.

著者名 (発行年)：論文の表題, 編者名 (編), 書名 (版数), ページ数, 出版社名, 発行地.

<例>

・山田花子 (2005) : 呼吸器疾患看護 第2版, 25-28, 医学研究書房, 東京.

・河田桃子 (2004) : 睡眠障害と看護, 兵庫花子, 看護京子 (編), 臨床看護総論 I, 124, 医学研究書房, 東京.

翻訳書：原著者名 (原書の発行年) / 訳者名 (翻訳書の発行年) 訳：翻訳書の書名 (版数), 引用箇所最初のページー最終のページ, 出版社名, 発行地.

<例>

・Cabading, K. (2000) / 慢性京子 (2003) 訳 : 慢性病のストレス 第2版, 56-58, 医学研究書房, 東京.

オンライン版でDOI (Digital Object Identifier, デジタルオブジェクト識別子) のない場合 :

著者名 (年号) : 論文の表題, 収載誌名, 巻 (号) , 最初のページ-最終のページ, URL  
<例>

・秋田次郎, 東北花子, 関東松美, 他 (2014) : 慢性看護における体験の意味, 日本リウマチ看護学会, 9(3), 20-28, <http://jscicn.com/magazine/contribution.html>

オンライン版でDOIのある場合 :

著者名 (年号) : 論文の表題, 収載誌名, 巻 (号) , 最初のページ-最終のページ. doi:  
DOI 番号

<例>

福井康二 (2014) : 看護実践の効果, 日本慢性看護学会, 10(3), 1-10. doi : 10.1508

Web ページなど、逐次的な更新が前提となっているコンテンツ、文書 :

著者 : タイトル, 入手日, アドレス

<例>

日本リウマチ看護学会 : ABCD マニュアル, 2007-12-20,

<http://www.abcd.org/journal/manual.html>

#### 11) 原稿はフォーマットに従って入力する。

フォーマット最初の最上部には表題、英文表題（主要語の語頭を大文字とする。接続詞、冠詞、短い前置詞は主要語とみなされない、著者名（ローマ字とも）、所属機関名（日本語表記、英語表記）、図・表および写真等の数を書き、キーワードを日本語・英語でそれぞれ3語程度記載する。エントリーシート様式には、筆頭著者の会員の有無、希望する論文種別、研究種別、編集委員会への連絡事項および連絡者の住所氏名などを付記すること。

原著希望の場合には、250 words 前後の英文抄録ならびに 400 字程度の和文抄録をつけること。

#### 12) 研究報告希望の場合は、英文抄録は不要であるが、400 字程度の和文抄録をつけること。

#### 13) 著作権

著作権は本学会に帰属する。掲載後は本学会の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。最終原稿提出時、編集委員会より提示される著作権譲渡同意書に筆頭著者が自筆署名し論文とともに送付すること。

#### 14) 著者が負担すべき費用

掲載料は原則として無料とする。Web 掲載であるため別刷りは発行しない。

著者は公表したデータに重大な過誤を発見した場合は、編集委員会にその旨を申し出て、訂正文や撤回文、正誤表またはその他のふさわしい手段を用いて誤りを訂正する必要がある。